

國際科學の實情

特277
956

特277-956
76410897

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

始



奉 仕 會 員 職 員



四 王 天 延 孝

76W10897



序

國際聯盟の實情は奉仕會が斯界の權威陸軍中將四王天延孝氏に請ひ、國際

聯盟の組織と會議の實情に關し詳細に涉り講演せられたる大意なり。

今や日本が聯盟脱退か否かの重大岐路に立つ折柄、強く國民の決意を促す

ため、聯盟の内容を國民に認識せしめ以て、我日本の執るべき方針に對する

諒解を得せしむることの緊要なるを想ひ、こゝに本書を刊行して世に頒つ

以なり。

昭和八年二月十一日

奉仕會



國際聯盟の實情

陸軍中將 四王天延孝

只今から國際聯盟の話を申し上げます。私は大正十三年から昭和二年迄國際聯盟に行つて居りました。僅かの任期ではありましたが、兎に角あそこに行つて國際聯盟なるものを眺めて見ますといふと、大體その前から私はこの秘密結社の研究を致して居りましたので、豫想して居つたと大した變りはありませんが、是が着々確められたといふことになるのであります。

一體國際聯盟とは如何なる動機でいつ頃準備され、いつ頃出來たかと申しますと、是は世界の平和論者が世界大戰の前から考へて居つたものと私は信じて居ります。さうして世界大戰の終る前々年、大正六年の六月二十八日、二十九日、三十日とこの三日間巴里で世界の秘密結社の大會を催して、もう是から段々戰爭を終ひにしやうぢやないか、その結末には是非國際聯盟といふものを拵へて、さうして今回の戰爭を以て世界最後の戰爭といふことにしてしまはなければならぬ。



その規約を作らうといふので十三箇條から成る規約を作つた。その草案があります。今日の國際聯盟規約は二十六箇條から成つて居りますが、その當時は條項の數は半數でありました。その精神に於ては今日のと大した變りはありません。是は矢張りインターナショナルと同穴の貉であります。この點をはつきりお考へ願ひたいのであります。表面に出た所は違つて居りますけれども本當の出發點は同じです。此所から出て居る。一つは社會主義、共產主義となり、一つは國際聯盟となつて居るのであります。世界秘密結社の目的たる世界の現狀を打破し、遂には世界共和國を作らうといふ思想に於て何も變つたことはない。その考へを以て見ないと見誤ります。唯社會主義、共產主義者の立場を取らずして、是がブルジョア的、學者的、政治的、外交官的の手法を採つて進んで居るだけでありまして、その達せむとする目的は國家といふものの存在を薄らげて、兵力も何もないブルート・クラシーといふものをそこに持つて來るのであります。軍備縮小をするのであります。怖い者なしにするのであります。その目的に向つて行く時に於て目標は同じであります。

御承知の通り出來上つたのは千九百十九年の六月二十日でありまして、當時は主たる同盟國並に聯合國でありまして、日英佛伊が主たる同盟國、それに亞米利加と白耳義、後から參加した支

那といふやうな聯合國が加つたのであります。最初は舊敵國たる獨逸、奧地利洪牙利などは入つて居りません。それが段々に加盟して行き、今度は中立國も入つて來まして、今日では世界の殆ど全部を網羅して五十五箇國の加盟國があるのであります。その中にどういふ機關があるかと申しますといふと、その中心に働くのは聯盟事務局と言ふのであります。是にはエリツク・ドラモンドといふ猶太人を始めとし、男女合せて四百名ばかり居ります。聯盟事務局といふのが實行委員でありますから、是が實に大なる働をするのです。總ての何々會といふのにも理事者があります。が、さういふやうな常任の者であります。それでエリツク・ドラモンドが猶太人であることは知つて居りますが、行つて見て驚いたことは重要な椅子は悉く猶太人が占めて居る。その時に於ては事務局次長が三人ありまして佛蘭西のアブノールといふ猶太人、伊太利のアットリコといふ猶太人、それから三人目がこの間までやつて居つた新渡部稻造といふ我が大日本帝國から出て居る人でありまして奥さんは日本人ではありません。最高地位の三人迄が猶太人である。その下の部長級になりますと政治部長のマンローが猶太人、經濟部長のソルターが猶太人、軍縮部長のマダリアガが猶太人、衛生保健部長のライヒマンが猶太人といふ風にすつと猶太人でありまして、總會の時に政府委員席に並んだ所を見ますと、ズラリと猶太人が並んで居ります。なせ斯う猶太人が多

いかといふことを研究して見るといふと、事務局に入つて働く者には斯ういふ雇傭条件がある。此所に來て働いて居る間に、若しその生れた國、即ち國籍のある所の國と聯盟の利益と衝突した場合に於ては、その生れた國の利益は棄て、聯盟の人となつて働くのだぞ。斯ういふ不文の條件がある。さうなつて來るといふと日本人の如きは大きに働かにくい。日本と聯盟との利害が衝突した場合には日本の利害を棄て、聯盟人、國際人となつて働くといふことは實にやりにくいことであり、今國籍を置いて居る所は唯一つの寄留籍に過ぎないと確信する所の猶太人は、英吉利に生れた所で聯盟と英吉利の利害と衝突すればさつさと聯盟の爲に、世界の爲にとつて働くのでありますから、猶太人の方がエリック・ドラモンドが使ふには使ひ易い。そこに日本人や伊太利人のファシストなどが入つて來ては使ひにくくつて仕様がなない。それが原因でありまして、猶太人の理想と國際聯盟の理想と一致して居る。もつと完全に言へば國際聯盟は猶太人の理想實現の爲に猶太人が實現したものと云ふことが出来る。それは私が唯空に論ずるのではありません。大正十五年にあそこで發刊された猶太雜誌「ユダヤ・ジュー・ジュー」の創刊號の論説欄に「國際聯盟論」といふものがありました。それを讀んで見ますといふとそのことが明かに書いてある。國際聯盟

とは我々民族が千八百年前に世界に離散せしめられて以來、民族生活の基礎根柢を成して來た事柄を是から政治的に解決する機關であるといふ定義を下して居る。廻り諄く書いて居りますが、即ちシオニズムと申しまして彼等が世界に打ち蒔かれてしまつた以上は、彼等は國を立つてやるのでなくして、無國家の儘いきなりインターナショナル、更に進んでコスモポリタン……萬國主義に進んで行かうといふことが彼等の基礎根柢になつた。國家といふものは權威を失つて彼等が世界の各國に居つて金を溜め重要な地位を占めて居つて、それが一緒になつて世界の覇權を握らうといふ考へ、その理想を政治的に實現するのである。各國の外務大臣だ大使だといふ人達を聯盟の會議に集めて、色々な決議をさせて、段々理想を實現しやうといふのでありますから、戦争すると言へば戦争してはいかぬと言つて、初め作つた時には殆ど超國家……一體國家といふものは最高無限の權を持つて居る。その上にその國家の權を抑へて行くといふことにしやうといふ意見があつた。併し超國家では加入者が少い。亞米利加の如きは忽ち作らせて置いて逃げてしまつた。日本でも超國家では斷じて加盟あつてはならぬといふことを樞密院あたりで上申したせうから、聯盟も命令は下さない。兎に角一つの決議をしたものは勸告ではあるけれども命令ではない。さういふことになりました五十五箇國今日は加へして居るのであります。それで彼等は仕方

なく今やつて居りますが、彼等の理想は國家の上に權力を及ぼして、國家を輿論で以て切り従へて行く。日本が生意氣で仕方がなければ何とかして抑へ付ける。聯盟の決議では命令は出来ないから十三對一といふやうな輿論を以て抑へ付けやうとする。今度の十九箇國會議でも當事國を除いて十七箇國が日本はいけないと斯う来るでせう。それを又五十三箇國位の總會でやるものと思つて居る。さういふ風にあの連中が奔走して来るのが聯盟としては當然のやり方であつて、彼等はさうやるのは已むを得ませんと思ひます。

倍てさういふ組織であります、それは事務局であつて中央執行委員であります。その外に五十五の加入國がある。それは一年に一回だけ集りまして、さうして總會を開いて議事をするのですけれども、國家といふ背景を持つたものが五十五集つて勝手なことを喋つた日には物の羅まやう等がない。唯それは安全辨であります。消息通は國際聯盟總會は小國の爲の安全辨なりといふことで、南米のパラグアイとかコロンビアとかヴェネズエラとか、兎に角國をなして居る以上は色々の不平がありますけれども、その不平を申し出す機會がないと色々勃發するから兎に角聯盟に行つて小國も斯ういふ權利があるといふことで喋らせれば宜い。その安全辨として自他共に許して居ります。その實況を見るといふと正に安全辨でありまして、私は總會に三度も出て見まし

たが、大國代表が別に人をチャームするやうな辯舌の人ばかりと言ふ譯ではなし、又、言つて居ることも必ずしも人を特に傾聴させる程でもありませんけれども、満場の人は一語も聴き洩すまいとして片唾を吞んで聴いて居ります。所が大國代表の演説が済んでしまつて、今度小國の代表者が演壇に立つといふと急に議場はガヤ／＼しまして、新聞記者はその前の大國代表のやつた演説を整理しまして早く電報を打たなければなりませんからその電文案などを作つて居て、小國代表が何を言つて居るか聴いても居らぬ。又煙草の喫ひたくなつた者は喫煙室に行く、小便の詰つた者は矢張り出て行くといふ譯で、小國代表には氣の毒なやうである。人物は堂々たる人が多く喋つて居ることも中々良いことを言ふ事もある。辯舌は爽やかであるが何と言つても聴いてくれない。何となれば彼等が如何に良いことを言つても天下の形勢に關係はない。パラグアイとかボリビアなどが何を言つても宜い。お土産演説をやらせて置けといふので、矢張り是は力といふものが背後になれば駄目だといふ考を持たせられました。

是より先大正十三年秋、私が印度洋航海中に船内の色々の國の智識階級の者だけで談話會を開きました。その時外國に度々出張になるお方で支那通の人が支那問題を論じて最後に是より我が日本帝國が支那に臨むには正義を以てすべきや、依然として力を以てすべきや、茲許十字街

頭に立つたと結論しました。私はあとで自分の番の時に、先刻のお話正義と力と直角をなすやうな話がありました。私共はとも正義と力と直角をなすといふことは分らない。必しも十字街頭に立たなくても宜いやうに思ふ。我が國の如きは御劍、御璽、御鏡といふ思想で立派に出来て居る。どうも先刻のは少し私には分らぬと言つて異議を申したことがありました。その年の聯盟總會に行つて見ますといふと今の佛蘭西の總理大臣エリオ氏が出て来て居りました。彼の言つたことは哲學者バスカルの言を引きまして「力を伴はざる正義は無力なり、又正義を伴はざる力は暴力なり」と断定しました。即ち正義には力が伴はなければならず力には正義が伴はなければならぬ。十字街頭に立つのではない。一緒に行かなければならぬと言つて居りましたが、この方が餘程分つたことを言ふと思ひました。要するに力といふものがなければ國際場裡に行つたつて、是は本當の並び大名で何にもならぬといふことを考へさせられた。

五十五箇國が寄つてもそれは一つの安全辨であつて輿論を作る陣笠であります。その中の日英獨佛伊が六箇國になるとは皆陣笠であります。その陣笠があつちの御用を勤めこつちの御用を勤めるといふだけに過ぎないのであります。でありますから本當の實行機關としての總會は毎年一回しか招集されない。特別非常の場合に臨時總會を開くのであります。極めて複雑なる手續を要す

る。故に大概の事は聯盟の重役たる理事會で處理するのであります。理事會は最初は日英獨佛伊米といふ六箇國になる筈であつたが、獨逸は舊敵國であるから入れない。米國は逃げてしまつたから本當は常任理事國として日英佛伊の四箇國しかなかつた。ところが大國ばかりで良いやうに總てを切盛されては迷惑だといふので、小國も三年交代の選舉制で入れることにした。今日は十四箇國の理事國になつて居る。この方は年に四回集ります。三箇月に一回、又臨時の理事會もあります。その理事會の中央にさつき言つた事務局といふものがあつて、是が始終事務を執つて居る。斯ういふ始終事務を取つて居る有給の者がなければ物が運ばないから已むを得ない話である。それが今申す通り猶太人を主として、猶太の理想實現の爲によく忠實に働いて居ります。その聯盟に又二つの附屬機關がありまして、その左翼の附屬機關は國際勞動事務局といふのであります。さつきお話ししたアルベル・トーマといふ猶太人がこの局長であります。さうして毎年一回總會を開く、勞資兩側と政府側とこの三つを一丸としていつでも會議をやりませう。あれも安全辨であります。あそこに行つて色々政府代表は政府側の氣焔を擧げる。勞働代表は勞働者側、資本家代表は資本家側と兩方の意見を聴くといふことになつて居る。もう一つの機關は和蘭のヘーグにあります。國際司法裁判所と言ふのであります。是は今日は我が國の安達峰一郎さんが

議長になつてやつて居ります。國際法學上の權威を集めてやつて居ります。

さういふ機關でやつて居りますが、今日我々が一番直面して考へなければならぬのは何であるかといふと、日支紛争問題である。今全體の輪廓を描きましたから、是から日支紛争に對する國際聯盟の態度といふものを申上げたならば、是が皆様の一番の關心事であると思ひます。端的に又私が赤禪々に申しますれば、去年勃發した事件……御條溝の滿鐵線路を爆破したり南方で色々といふ排日をやつたりしたその責任者の中には私は國際聯盟を數へざるを得ない。何となれば是は聯盟から來た書類を數年前からのものをこの間調べて見ましたが、去年事件勃發の半年前に來た國際聯盟事務局の一員で、萬國に對して公平な仕事をしなければならぬ所の事務局の重要役員であるライヒマンといふ猶太人が支那政府の顧問になつて南京政府に入つて居る。元經濟部長のソルター氏も來て居つた。是等が支那政府に肩を入れてその政府の顧問となつて居る以上は支那に最良をするのは當り前の話であります。人もあらうに聯盟の事務員が自ら支那の開発といふ爲に來ると言ふ、こゝらに非常に怪むべき點があるのです。毎年支那に來て支那を輔導して居る。數年前から支那の領土保全論が彼等に依つて頼りに唱へられて居る。是は何も聯盟が唱へたのみではない。亞米利加も九箇國條約に依つて華盛頓條約の引續きの際決めてしまつたのですが、何故

にあゝいふ變なものを作つたか合點が行かずに居りましたが、二、三年前からの情勢を見て居ると支那といふものを勞農露西亞と打つて一丸としたいのです。勞農露西亞だけではさつき言つた通り共產主義も駄目、五箇年計畫も駄目だ。それでもつて人口稠密な支那に手を延ばしたいことは私が歐羅巴に居る頃知つて居りましたが、この頃段々具體化して支那と露西亞を益々打つて一丸とした經濟ブロックを作つたり、それから引續いては印度に手を延ばし、世界を大部分含んだ所の勞農組織にしたい。斯うすれば有無相通じ經濟組織も強まるだらうといふので、下準備として支那の領土を保全して置く。そこに獨立國が出來たといふことになつてはその計畫ががらりと外れるから支那の領土はいつ迄も保全しなければならぬといふ彼等の考がある。その考からするといふと日本が朝鮮半島をしつかり持ち、更に滿鐵といふものを依然として握り、この滿鐵線路に沿つて繁榮をして行くといふことは、彼等から見れば實に邪魔で邪魔で仕様がなない。滿鐵守備權を回收し、旅大の租借地を三十七年が期限だと言つて還させて、日本を大陸から片付けてしまふといふことが支那の領土保全を叫ぶ所以であるといふことは世界の秘密結社が黒頭布を被つてやつて居るのであつて、支那自身が領土保全を叫んで居るのではない。哈爾濱に居つた頃シンブソンといふ者が私に對して、日本は早く山東をお還しなさいといふことを何遍も言つた。山東を還さ

ない爲に日本と支那との懸案が解決しない。是さへ還せば日支の紛争はもう一天拭うが如く朗かな付合になりますと言つて宣傳に來ました。それで私はどうも有難いことを教へて下さつたが、その次には直ちに旅大の回收と來ませんかといふと押し見ますと、いやそんなことはないと言つて居りましたが、こつちが一步退けば向ふは二歩出て來る。次々に日本を大陸から追出さうとする彼等の魂膽は知つて居りますから聞き流しましたが、總て日本を大陸から追出して大日本帝國といふ皇國を明治廿六年の状態に返して、その中でわん／＼やらせて自爆させやうといふのであります。滿蒙總退却論といふのを一、二年前から去年の夏位迄考へて居つた日本人の知識階級の馬鹿者もありますが、滿蒙總退却をするといふことは、まんまと彼等の手に嵌ることです。大正十年五月八日バイカル湖畔の極東共和國政府機關新聞が「歴史は此く言はん」と題して書いた中に「世界革命の最後の蒸氣汽鐘は終に日本に於て破れせしめる。云々」と明言してありました。蒸氣機關を破裂せしめるには安全弁を付けて置いて置いた日には決して自爆はしませんけれども、方々の國を閉ぢてしまつて置けば自爆する。打倒帝國主義と言つて日本帝國の存在が彼等の世界統一の爲に邪魔になるといふので躍起になるのは彼等として無理はない。さういふことで大陸政策を考へつゝある。今や日本が滿蒙に進出して退却どころでない。益々此所に滿洲國を援助しようとい

ふのですから御機嫌を損せざるを得ない。彼等が認識不足であつたことはもう日本に大分社會主義も入つて行つた。反戰運動の手も掛けて置いたから、戦争すると言つても誰がそんな何の爲にやるのだと言つて國民がなか／＼應じまい。又政治外交の衝突に當つて居る人も、今やつて居る人は實に好人だ。華盛頓會議にも譲つてくれ倫敦會議にも譲つてくれた。スチムソンなどは我々は脱帽して敬意を表すと言つた。さういふ好人達がある時にやつた方が宜いと思つて始めたのですが、日本は神國でありますから到頭その溫和しい人でも何でも軍部と一緒にやつてやるといふことになつたから彼等は的外れなのであります。

一體理事國にならないといふと理事會の開會を請求出來ないから、支那を理事國にしたいといふことを考へたのは事務局の連中である。改選期に達した二つの國員をどの國で埋めるかといふと、支那といふ團體ばかり大きい國と、千九百三年に亞米利加がパナマ運河を作る爲にコロンビアから獨立させたパナマといふ國……亞米利加の傀儡國となつたパナマと亞米利加の尻押しをして居る支那とを宜くも揃へて去年選舉させた。是は事務局の先生が奔走至らざるなく各國を説いて大多數を以て、是が當選するやうにした。一體聯盟規約から言ふならば支那は除名すべき國です。何となれば聯盟規約の書き起してある「組織ある國家」ではない。このことに就ては私が行

一四
つて居つた當時、支那の代表者が何かといふと自分の論旨を強めて、地球總人口の四分の一の四億の民衆を代表して居るとやつて居りました。それで某國の代表が非公式の時に、君は四億の代表と言ふが、支那には廣東政府、南京政府、東北政權、それから直隸あたりにも何とかいふ政府があつて、我々には薩張り分らないが、一體君はこの政府を代表して來て居るのかと突つ込みました。參つたと言ふかと思つて居ると支那人は辯論は上手です。當意即妙の返事をしました。さうです、あなたの國が認めて公使を送つて居る所の政府を代表して居ると言つた。辯論では實に優れて居るけれども組織のないことは何人も認めて居る。又國際條約上の義務を尊重すといふ條項がありますが支那はサヴェートに次いで條約を尊重致しません。又十數年加盟して居ります。會費を拂つたことがない。昨年九月理事國といふ重役になるのに會費を拂つて居なくては少し極りが悪いといふので、その中三分の一をこの猶太の財閥が貸してやつたか知らぬが、持つて來ました。三分の二はまだ負債になつて居る筈です。兎に角無理をして支那を當選させた。それで去年は九月七日が總會の開會の日です。毎年第一月曜といふことになつて居る。九月七日開會九月十四日が理事國の補選選挙です。そこで事務局の奔走に依つて目出度く支那とバナマといふ大きな國と小さな國が二つ當選しました。その十四日が奉天に色々な事が起つた。吳俊陞の息子の

吳俊來が奉天の中央銀行から百六十萬元、熱河の湯玉麟が五十萬元を出し頭として數多の高官が奉天から預金を引出して天津、上海方面に預け變へました。あそこに置いて下手に間違ふと全部占領されて持つて行かれては大變だといふので、足元の明るい内に預け變へをしたといふ事實があります。兎に角理事國になつて居りさへすれば支那單獨で理事會の開催を請求出来る。所が支那が平聯盟國であつて理事國でないといふと少くも三國の連名でなければ出来ない。平聯盟國ならば參考の爲に呼ばれて陳述するのが、理事會の一員になつて居れば對等に話が出来来る。日本は聯盟創立以來の重要な役員である。片方は漸く會費三分の一納めて後から入つた者である。それでもあそこに於て對等の權利を以て發言することが出来るから彼等の準備は九月十四日に出來た。さうして十九日が補選で出た新顔も交へた第一回の理事會の顔合の日であつた。その前の晩の十八日にあそこでポカンとやつた。直ちに聯盟に持ち出してあんなことをして居りますが、聯盟に訴へた電文を見ると實に情ない支那の言ひ分です。支那は如何なる條件でも聯盟の御裁きに從ふから宜しく頼むと言つて居る。是が最初から考へて居る向ふの手である。金を借りる時でも白紙に判を一つ押して如何なる條件でも宜いといふことは如何に金策に困つた時でも返済の誠意のある人には書けません。支那は獨立國としての權威も何も忘れてしまつて如何なる條件でも宜いと言

ひました。國際聯盟の方から言へば支那は聯盟の存在を厳として認めて繼つて来る善い奴だ。日本は生意氣なことを言つていかぬと言つて心證を害する如くに初めから仕組んであつた。それでライヒマンが事件が始まると共に頻りに電報を往復する。軍部が怒つても外務大臣あたりが震へ上つてまあ／＼と言ふかと思つたら、なか／＼うまく行かぬものでありますから、ライヒマンは焦慮の餘りこの間上海の戦鬪で吾軍が占領した真茹の無線電信所へ自分の寢臺を擔ぎ込んで宿直をしながら短波長の機械で頻りに暗號電報を打つて聯盟と打合をして居つた。聯盟から來て居る支那の顧問が聯盟と打合をしてやつて居るので、甚だ日本を不利に陥らしめた。一方は機先の利く支那代表に對して例の芳澤さんはお口が重い方である。二十四時間も経てから聯盟に出した報告が未だ本國政府から詳細の報に接せず具體的のことは申上げられぬが、兎に角事件の擴大しないやうに努めて居ることは此所で申上げて置くといふのですから、各國は日本が悪いのだなといふ感じを皆持つてしまつた。最初の出發點はさういふ工合でありました。是より先九月十八日に事件が起りますと上海で以て猶太人の團體が一つの日支兩國民に告ぐといふ文を出しました。我々猶太人は日支兩國民に對して何等の恩怨はない。即ち全然公平無私の立場から物を申すのであると綺麗なことを言つて居る。我々は亞細亞の二大國民たる日支兩國民

が武力闘争に没頭しないで、速に問題を平和的に解決することを望む次第である。殊に日本に於ては日本の最良分子は（註……何人を指すか知れませんが）彼等の軍閥の好戰的態度を是認したり、之を支持したりすることなく、どこ迄も戦争を否定することを祈つて止まない次第である。戦争は破壊の科學である。悪魔の收獲時であると言つて、社會主義者の言ふ通りの反戰論をすつと書いて居る。何か支那に對して一言してくれませんかと思つて最後まで讀んで見ました。又支那に告ぐ、君達も國際聯盟の國際協力を促進するといふことに逆らつて、打倒日本といふやうなことを言つて他國を怒らすといふことは宜しくない。それが紛争の元であるといふことを一言半句でも書いてくれるかと思つたら何も書いてない。即ち是が猶太民族の日支紛争に對する態度である。又是が聯盟の中のエリツク・ドラモンドの考へである。それから上海の一つのグループのやつたこともその中にライヒマンといふ支那政府の補導者が入つて居つてやつて居る。輿論は是で出来るのですから、聯盟が後援した輿論がどうなつた所で我々が一喜一憂することは愚の骨頂で、どこ迄も向ふは反對して來るものところらは肚を極めて掛からなければ嘘であるといふことを私は初めからその筋の人に話をして置いた次第であります。さういふ譯で理事會も三回も開いてきて居ります。そこで途中の経過は省略しますが、今や聯

盟調査團の連中が明後日位に報告書を書き上げて出すでありませんが、それが如何なる報告書が出るか、恐らく日本に對して有利な報告書は出まいと思ひます。どういふ文を以て文を婉曲に言ひ現はすか別問題として、滿洲國の獨立を承認するやうなことは書くまいと思ふ。日本はどこ迄も滿洲國を獨立國として承認する以上は聯盟との衝突は免れないと思ふのであります。それは如何なる形式でガンと來るか軟らかく來るか知らないけれども、兎に角打突からざるを得ない。又打突かることを覺悟の前で居なければならぬ。支那が聯盟規約の十五條で訴へて居るが、支那は聯盟の裁きに服すると言つて居るから十五條の四項かで紛争當事國を除いた全會一致の決議を信奉する國に對して紛争當事國の一方が喧嘩をした場合に於ては、それは聯盟全體の敵だといふことになつて居りますから、若し調査團の報告……（それは良い加減なものかも知れぬが）それに基づいて理事會が開かれて理事會で少し強くなつて、それから十九箇國の總會で又少し強くなる。それを本當の總會に持つて行くと又もう少し強くなるかも知れぬ。それはなせかといふとさつき申した軍縮部長のマダリヤーガといふ者がありません。軍縮部長を辭めて倫敦の劍橋大學の學長になつて居たが西班牙の革命があると、今度は西班牙大使となつて亞米利加に行つて居るべき者が華盛頓をすつばかして來て居る。エリツク・ドラモンドの元部下であり同族猶太人で、最も信

頼して願で使へる奴です。チョツキの所に手を突込んで巾着切の上前撥ねのやうな顔をした神經質の男です。ドラモンドにちよつと來いと言はれて廊下をきよろ／＼跳び廻つて居る姿が見えるやうな氣がする。彼が大きい聲で話をすることを聞いたことがない。いつも小さい聲で内證話をして居て實に妙な人でしたが、それが西班牙語で南米の小國などを説いて歩いて、兎に角支那の方に加擔をしる。理窟はどつちでも宜い。日本と支那のどつちが初めに手を出したか、そんなことは宜い。兎に角大國で武力を持つた國が之を抑へるといふことは甚だ困るのだから支那の方に味方をしろ。理窟が良からうが悪からうが聯盟にお任せするといふ方を負かすといふことになれば聯盟の權威が失くなる。兎に角日支紛争の調査や何かはどうでも宜い。支那に味方するやうにと言つて説いて居るさうである。さうするときはきお話した色々の陣笠連中です。南米あたり的小國連中は事があつたら聯盟に絶れば國を滅さすに濟むと言はれれば、それに越したことはないといふので正邪も判断せすいきなりマダリヤーガの勧誘に依つて、總會の空氣は皆支那の方に有利に傾くものと見なければならぬ。即ち日支紛争などはもうどつちが宜いか、張學良が宜いか日本の方が宜いか。正邪曲直は明かな問題であるが、この正義を無視して聯盟が來るだらうと私は考へて居る。それを我々は豫想して居らなければならぬ。若しさうならなければ誠に幸で

あります。又さうならないやうに我が國から助太刀に行く松岡洋右氏とか、私共の後輩だつた陸軍省の猛者も行きます。さうして努力はしませうけれども、總會はさういふ風に傾くだらうと思ひます。さうすればどうなるかといふと聯盟規約に従ひ、紛争國を除く全會一致の決議を尊重する國に對抗した國を悪いとする。さういふことにして或は第十六條による經濟封鎖といふやうなことにデリ／＼持つて来るかも知れぬ。併し實際はソナナ事は實行出来まいと思ふが、最悪の場合として經濟封鎖のことも覺悟して置かねばならぬ。又、日本の聯盟脱退問題も考へて置かねばならぬ。彼等不正義の奴等に被告扱をされて居ることが良いか悪いか、今學者の中にも色々脱退不可論を唱へる者があります。私は固より脱退論者であります。但し風呂敷包を背負つたり柳行李を擔いで奉公に行つて、その家の家風が氣に入らないから、へえ左様ならと言つて歸つて来るのは違つて、日本は聯盟創立以來の重役ですから、従つて理事會を開くことを要求して是まで貸しになつて居つた幾多の聯盟の不正義の事件を一々勘定して、所謂斬奸状を叩き突けてやるが宜しい。昨年は法的根據も極めることなく理事會でもなければ加入國でもない米國を理事會にオブザーヴァとして入れたのはどういふ譯だ。法的根據を研究して居る暇はないとブリアンは言つた。さうして日本の反對にも拘らず米國を出席せしめたが、その後法的研究はしたかといふやうなこ

とから持つて行つて、彼等の不正義を暴露して、こんな不正義な者と一緒になつて居るのは神國日本の汚れたと言つて歸つてしまへば宜い。さうして一番最初には日本と滿洲國と極東國際聯盟を作つて、それを段々廣くして行く、東洋の一角から本當の聯盟を作るといふことにして行けば宜いのであります。

聯盟を脱退したから直ぐ經濟封鎖といふ譯ではない。私がゼネバに在留中にもブラジル、アルゼンチン、土耳其が脱退した。脱退したからと言つて直ぐ經濟封鎖といふことはありませんが、兎に角起りがさういふことになつて居りますと或は經濟封鎖といふやうなことになつて日本を脅かすかも知れません。幾らそれで脅かしても私共は構はない積りです。是が非常に日本の藥になると思ひます。この間も西洋人數人と夕飯を一緒に食ひました時に私が言つた。十五條から遂には十六條に行くかも知れない。十六條の明文に依ると經濟上、金融上、交通上の總ての關係を斷絶すといふことになつて居るから、さうなるとも君等は行つたり來たり出来なくなる。今夜の晚餐が最後の別れの晚餐かも知れないな、冗談を言ひました所が、いやそんなことはありません。私共の國だつて馬鹿ばかり居ないですから一應否定はしたが更に、併し經濟封鎖と來たら日本はどうしますかと言ふから、私は總理大臣でもないし在野の一浪人であるから分らないが私共

志を同じうする者は幾らでも居ると思ふ。私共の考に依れば經濟封鎖は甘んじて受ける。凡そ世界廣しと雖も日本位經濟封鎖の經驗の豊富な國はあるまい。即ち徳川三百年の間完全に經濟封鎖を自發的にやつて食ふ物にも着る物にも住ひにも困らなかつた。あの當時に比して人口は二倍以上になつたが、その代り臺灣も入れば朝鮮も入つた。今度は日本の内地に三倍する滿洲國も特別なる經濟關係の中に入つたから、少しも心配はない。經濟封鎖をするなら甘んじて、受けやうと言ひました所が、成程そいつは初めて伺つた面白い御議論だ、あなたの名前を出して私の國の大使に報告して宜いかと言ふから、御念にや及ぶ、もうどこの國の大使にでも話してくれと言つた。先生暫く考へて居ましたが、成程考へて見ると日本は初め鎖國をやつて居るのを西洋人が軍艦を持つて來て無理に國を開かせて置いて、今度は又無理に封鎖するのは可笑しいかなと言つたから、大いに可笑しいよと言つてやりました。併し言ふは易し行ふは難しで大言壯語は易しいけれども、經濟封鎖になつたら今日の様な空々寂々の自力更生の掛け聲などでは駄目と思ひます。今日は動もすれば饑餓線上に立つと言ひますが、實際はマダ／＼贅澤が多いと思ひます。愈々となればこんな羅紗などを着る譯には行かぬ。如何に滿洲に綿羊を飼ふからと言つて經濟封鎖を受けたからしつかり育つてくれと言つてもさう繁殖はしません。古綿でも打ち直して木綿の

着物を着る。兵隊も小倉の布で服を作る。大正十二年九月一日大震災の後、京濱の人達が金のある人も綺麗な風もしないで手車を押したりリヤカーを引つ張つたりして、一意帝都復興の爲に貧富貴賤の別なく働いた。あの當時以上の覺悟でやらなければ六ヶ敷いと思ふ。そして是が實に大和民族の一大試鍊の時であると思つて、この試鍊に立派に打克ち得たならば世界のリーダーになれるのだといふ考を以て舉國一致 天皇を中心とし、この神ながらの大道の榮え行くが爲にやる。そこにうんと目覺めて來ないと中には弱氣を吐く者も現はれて來る。

又私共は考へて見ると日本には非常に良い試鍊の時である。お釋迦様も其他の大宗教家も精神上の統一をする時は山へ這入つて外界と絶つた。日本の國が經濟封鎖になると零非になる。さうしたら外界と斷つて明治初年以來知識を世界に求めてやつたことを清算するのです。まだ靴の中が整理してない。良きを取り惡しきを棄てると明治天皇様が仰せられたが、それがまだ本當に取捨してない。之を融合した大和民族の本當の東洋文明、日本文化といふものが完成して居ない。餘り事多くして日清戦争、日露戦争と色々急がしかつた。暫く經濟封鎖をしてくれれば、その間に頭の整理をして本當に消化して、東西文化を融合した日本文化を以てやらうといふ非常に良い修養の時と思つて經濟封鎖を切り抜けなければならぬ。一方から言へば是非曲直の明かなもの

をわざ／＼日本を困らせやうといふのでありますから、是は一つの譬で言へば天の岩戸隠れであります。日本が戸を締めてしまつて世界を眞暗にしてやる。さうして日滿兩關係をしつかり固めて頑として居れば、ちよつとあそこを通る譯に行かない。歐羅巴に行く譯に行かず西伯利鐵道も變な事になつて来る。さうして皆虚禮を棄て、本當に働くといふことになりますと、國はど／＼榮えて來ます。さうなつて來ると滿洲國の隣の内蒙古が滿洲國に加盟して來る。外蒙古も今赤旗を立てられて居るが滿洲國に加入しやうと言つて來る。黑龍江省の先の方のバイカル極東三州が大正九年に獨立して極東共和國といふものを作つた。その大正九年の昔を忘れて居る譯ではない。日本が嚴としてそこに存在し滿洲國が張學良時代より良くなるといふことになつて來ますと、今の白露人が居ても立つても居られぬから赤露と斷絶して獨立するといふことになる。さあ斯うなつては大變だといふので日本に通商を開いてくれと亞米利加の方から御機嫌を取つて來るのであります。愈々手力男命が出て岩戸を開けるといふことになる。その開けた時が本當に大和民族が世界に光り出す時であります。それ等のことは西洋人には分りません。分らぬであります。併し我々は歴史を調べ又大和民族の傳統からして、さうなるべきものであるといふことを固く信じて居るのでありますから恐れることはありません。私共行つて見て居ると事務

局の先生等は、大正十五年三月の臨時總會で獨逸が怒つてしまつて、旗を巻いて歸ると言つた時などは、きよと／＼して又戦争だと言つて青くなつて居る。もう悲壯な面持で廊下などを駆け廻つて居るのを見ると、本當に國家の正義が立つたか立たぬかといふ場合で何でもやるといふ決心が付いて、舉國一致やるといふことになれば聯盟などさう恐いものではない。

今聯盟で各國が手を繋いで居りますけれども、手を繋いで居るのは唯利害でやつて居るのであります。マダリアアなどが奔走して小國あたりを説いて居るのだから、それ等の中にも正義といふものの分らぬことはない。今だつて佛蘭西の或る評論家は國際聯盟は何だ、今日迄實に幾多の過と滑稽を演じて來たが、益々罪を重ねむとして居る。もう破産しかけた。ジュネーヴ湖畔に出來掛かつて居る新築建物には破産に付工事中止といふ看板を掲げ、序にその傍に追つて平和夢遊病者養老院に改築可仕候といふ札でも出すがよいと言つて居る。斯ういふ論者もあるものであります。世界全部が支那の宣傳などで誤られることはない。大日本帝國の正義を以て行けば恐いことはない。調子に乗つて過を侵してはならぬが、私共はどこ迄も正義を以て行くといふことになれば、聯盟が何だ。世界が結束して來ても大丈夫だ。無暗に兵力を以てやることはしません。若し來たらば西洋各國の革命が起る時である。日本には革命は起らない。昨年夏以前の

日本の空気で、彼等は日本を大陸から追ひ出してその中に油を差して革命が成功すると思つたら
うが、舉國一致、神々の御守護があつて決して革命が起らぬといふことになる、初めて彼等は
日本といふ國は不思議な國だといふので日本の國體を研究し始めるやうになる。その時に初めて
夜が明けて日本人自ら自分の國の偉かつたことにびつくりするであります。さういふ時代はま
だ我々が活躍し得る五年十年の間に来るものと思つて居りますが、兎に角その間は重大なる時期
でありますから、國民は十分緊張して大和民族の大使命を果したいと思ふのであります。大變又
長くなりましたが是で失禮致します。(昭和七年八月三十日講述)

昭和八年二月貳拾日印刷
昭和八年二月廿五日發行

國際聯盟の實情

〔非賣品〕

複製
不許

著者 四王天延孝

發行人 葛生仁三郎

印刷人 堀江關武

東京市麴町區飯田町六ノ二四

發行所 奉仕會

電話九段(33)三三〇八番
振替東京三七八〇番

終